

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岡本 由華 他1名	実務経験		○	
実務内容	看護師として病院に勤務後、講師として教授している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頭部の体表解剖学、骨格器系の演習(国家試験過去問題)と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～4章)	筋系、神経系の演習(国家試験過去問題)と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第5章～7章)	感覚器、血液、循環器系の演習(国家試験過去問題)と解説
4	人体の構造および機能の復習 (第8章～9章)	呼吸器系、消化器系の演習(国家試験過去問題)と解説
5	皮膚科学(第1章)	皮膚の構造
6	皮膚科学(第2章)	皮膚付属機関の構造 1項 毛
7	皮膚科学(第2章～3章)	皮膚付属器の構造 2項脂腺 3項汗腺 4項爪 皮膚の循環器系と神経系
8	皮膚科学(第4章)	皮膚と付属器の生理機能

9	総まとめ	テストを実施する
10	皮膚科学(第5章)	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項皮膚炎・湿疹・3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 6項温熱・寒冷による皮膚障害 7項角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 血管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説 皮膚科学(第6章)	振り返り・解説
16	皮膚科学の復習(第1～2章)	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習(第2章～4章)	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
18	皮膚科学の復習(第5章)	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習(第6章)	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	文化論	出版社	社)日本理容美容教育センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田代 耕一	実務経験			
実務内容	高校、大学、美術予備校講師として35年務める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第7.8節 近代(大正)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代Ⅰ(1945～1950年代)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代Ⅰ(1945～1950年代)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代Ⅰ(1945～1950年代)	現代Ⅰ(1945～1950年代)の髪型・服装・化粧について
6	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	現代Ⅱ(1960～1970年代)の髪型・化粧・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	現代Ⅲ(1980～1990年代)の髪型・化粧・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第10～12節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	現代Ⅳ(2000年代以降)
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について

10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	運営管理		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡部 忠信	実務経験		○	
実務内容	県庁で勤務後、大学や専門学校など講師歴25年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節 第3節	経営とは何か、経営者の責任、経営の目的を理解する。
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第4節 第5節	経営戦略とは何かを理解する。
4	第2章 理容業・美容業の経営について第1節 第2節	業界の概要、理容業・美容業を取り巻く社会の変化を理解する。
5	第2章 理容業・美容業の経営について第3節	理容業・美容業における競争を理解する。
6	第2章 理容業・美容業の経営について第4節 第5節	競争の未来図、理容業・美容業の顧客を理解する。
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する
8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	資産と負債、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する

10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P48～P61
12	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ
13	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	回答&解説
16	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P68～P71
17	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P71～P73
18	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ
19	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第4節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
20	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章健康・安全な職場環境の実現 第1 節 第2節	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康
21	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章健康・安全な職場環境の実現 第3節 第4節	理容業・美容業に特徴的な健康課題、作業環境に関する健康問題を理解する。
22	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	サービス・デザインの基本を学び、サービス・システム①を学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	サービス・システム②、新しいサービスをデザインする。
25	第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング	理容業・美容業のマーケティング、マーケティングリサーチ、サービスの改善を理解する。
26	第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング	コミュニケーションやコスト、情報活用について理解する。
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客についての理解を深める。接客の実践①―③を理解する。
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客におけるトラブル対応を理解する。
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	増本 彩 他5名	実務経験	○		
実務内容	美容師、アイリストとしてサロンに勤務し、技術や育成に従事した経験をもとに美容技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	<< 8章 エステティック >> 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	<< 9章 ネイル技術 >> 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレハレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&ファイラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマツサージのポイント・手順、フットマツサージのポイント・手順
5	<< 10章 メイクアップ >> 1. メイクアップ概論 2. 皮膚の生理と構造 3. フェイスプロポーション 4. 色彩について 5. パーソナルカラー	・メイクアップ概論・皮膚の生理と構造、表皮、真皮、皮下組織・フェイスプロポーション、顔の各部の名称・色彩について、色の三属性、色相、明度と彩度、色調・パーソナルカラー、spring, summer, Autumn, winter

6	6. 用具の種類と消毒方法 7. メイクアップ 8. ブライダルメイクアップ 9. 肌質別修正メイクアップ	・主な用具の種類、衛生について、手指の消毒、タオル類の消毒、用具の洗い方、ブラシ類、パウダーパフ、アイシャドーチップ、用具の消毒方法、消毒の手順、血液が付着していない場合、血液が付着している、あるいはその疑いのある場合 ・メイクアップ スキンケア、クレンジング、化粧水、乳液、スペシャルケア ・ベースメイクアップ 化粧下地、毛穴補正料、コントロールカラー、ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダー ・ブラッシュアップメイクアップ、チーク、ハイライト、シャドー ・アイブロウメイクアップ、眉の毛の流れ、眉の形の基本、代表的な眉の形 ・アイメイクアップ、アイカラー(アイシャドー)、アイライン、アイラッシュカール、マスカラ ・リップメイクアップ、代表的なリップライン ・ブライダルメイクアップ、男性のメイクアップ、スキンケア、カバーメイクアップ、眉、シャドー、リップケア・肌質別修正メイクアップ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、
7	10. まつ毛エクステンション	・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、
8	総まとめ	テストを実施する 8章～11章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
9	《 11章 日本髪 》 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 5. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
10	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 10. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら(かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ)
11	《 12章 着付けの理論と技術 》 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 9. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
12	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
13	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 19. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
14	まとめ	まとめを実施する 11章～13章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
15	解説	テストの振り返り・解説
16	美容技術理論 I 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論 I 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論 I 4章・5章	ヘアカッティング・パーマメントウエーピング 重点項目振り返り
19	美容技術理論 I 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論 I 総まとめ	美容技術理論 I 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論 I・II 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論 I・II の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論 I・II 重点項目復習

27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。				
評価基準	テストおよび小テスト:80% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	都香 宏	実務経験		○	
実務内容	高校で教員として勤務後、起業をして有限会社を設立し運営をしている。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会生活における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ~ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する。
8	解説	振り返り・解説

9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する。
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	衛生に関連する法律
20	第4章 関連法規	業の振興に関連する法律、雇用に関連する法律、消費者保護に関連する法律
21	まとめ	まとめを実施する。
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する。
27	解説	振り返り・解説
28	総復習(1)	国家試験過去問演習等
29	総復習(2)	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小川 由起子 他1名	実務経験			
実務内容	薬剤師、衛生検査技師、食品衛生管理者。 本校をはじめ、大学と大学院で薬学を教えている。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
2	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
3	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法(消毒条件・特徴) すぐれた消毒法と実施上の注意
4	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法(消毒条件・特徴) すぐれた消毒法と実施上の注意
5	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
6	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
7	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
8	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際

9	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1 目的～第4 衛生的取り扱い等
10	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1 目的～第4 衛生的取り扱い等
11	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5 消毒～第6 自主的管理体制
12	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5 消毒～第6 自主的管理体制
13	まとめ	衛生管理技術、衛生管理の実際 まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
17	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
18	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
19	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
20	感染症	感染症のまとめと問題演習
21	感染症	感染症のまとめと問題演習
22	感染症	感染症のまとめと問題演習
23	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	化粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	化粧品化学		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実際の知識の習得する。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	衛生管理、美容保健、美容技術理論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	海井 美紀 他1名	実務経験		○	
実務内容	美容師としてサロンに勤務し、その経験を活かし大学でも講義をしたのち専門学校で技術や知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 第1章:化粧品総論 第2章:化粧品を使用する際に気を付けること	化粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから使用する際の注意その他
2	第3章:化粧品の成り立ち「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章:化粧品の成り立ち「油性原料」「界面活性剤」	油性原料(油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコーン油など) 界面活性剤の種類と性質
4	第3章:化粧品の成り立ち「高分子化合物」「色材」	高分子化合物(天然・半合成・合成) 色材(無機顔料・タール色素など)
5	まとめ総合および中間試験	1~4回までの総復習および中間試験
6	第3章:化粧品の成り立ち「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料(防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など)合成樹脂など
7	第2編 第1章:スキンケア製品①	クレンジング用化粧品・コンディショニング用化粧品(クリーム・乳液を含む)とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章:スキンケア製品②	トリートメント用化粧品・スキンケア製品・美白用化粧品・ニキビ用化粧品・打粉類・パック剤

9	第2編 第2章:メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編 第3章:ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品①	ヘアクレンジング用化粧品、ヘアコンディショニング用化粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章:ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品②	パーマ剤(パーマの原理、分類など)
12	第2編 第3章:ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品③	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ
16	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する。
17	化学範囲補充	教科書化学範囲(関連事項)について補足授業
18	化粧品化学総合①	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
19	化粧品化学総合②	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
20	化粧品化学総合③	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
21	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
22	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
23	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ総合および期末試験	期末試験(全範囲)
25	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	増本 彩 他8名	実務経験	○		
実務内容	美容師、アイリストとしてサロンに勤務し、技術や育成に従事した経験をもとに美容技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)復習、計測27分～25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入(手順、スライス、ピンニング)、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボールド導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボールド導入
6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボールド復習、強化、7段目クロッキノールカール導入
7	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボールド、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス
8	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイボールド、7段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール12分 7段構成 計測35～30分、美容師国家試験衛生

10	オールウェーブセッティング	7段構成 計測35～30分 美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
13	オールウェーブセッティング	7段構成25分 美容師国家試験衛生
14	オールウェーブセッティング 総まとめ	7段構成25分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	浅山 翔悟 他8名	実務経験	○		
実務内容	美容師としてサロンに勤務し、技術や育成に従事した経験をもとに技術全般を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測20分でまとめを実施する

10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り
各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測(カッティングのみ)18分～16分(チェックカット込み)22分～20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測(カッティングのみ)18分～16分(チェックカット込み)22分～20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測(カッティングのみ)18分～16分(チェックカット込み)22分～20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウェーブ:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	増本 彩 他8名	実務経験		○	
実務内容	美容師、アイリストとしてサロンに勤務し、技術や育成に従事した経験をもとに美容技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【オールウェーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人美容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 各校フリー：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	浅山 翔悟 他8名	実務経験	○		
実務内容	美容師としてサロンに勤務し、技術や育成に従事した経験をもとに技術全般を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式・カットニング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	西田麻友 他8名	実務経験		○	
実務内容	美容師として勤務。サロンワークの他、新人研修などの担当経験をもとに技術全般を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本セット)足袋	出版社	桜花出版KW		

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。		
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け3級(6月強制受験 免許強制) ・きもの着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。		
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	原 真理子 他3名	実務経験	○
実務内容	ヘアサロン、ブライダルサロンにて15年以上の現場経験有。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する

6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け3級検定(小紋の着付と蝶結び(20分))を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学1	着物の名称と用語(プリント①②)について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方(自装)と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯1	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯2	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付(お太鼓結び)と総まとめを行う
16	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
20	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
21	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
22	振袖の着せ方7	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
23	振袖の着せ方8	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け2級検定試験(振袖にふくら雀30分)を実施する
26	座学2	着物のTPO(プリント③④)を学ぶ
27	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について

28	留袖の着せ方2 紋服の着せ方	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ 紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	教本・花嫁テキスト・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ひも(モスリン(4点)仮ひも(1))・和装スリッパ(下着)・クリップ(5本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				
到達目標	礼装・花嫁着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、業界で通用する人材となる。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け2級(5月強制受験 免許強制) ・花嫁着付3級(12月強制受験 免許強制) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	美容実践 I -C				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原 真理子 他3名	実務経験		○	
実務内容	ヘアサロン、ブライダルサロンにて15年以上の現場経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方3	考査票の記入、振袖着付を仕上げる(検定対策)
2	振袖の着せ方4	振袖着付を仕上げる(検定対策)
3	振袖の着せ方5	振袖着付を仕上げる(検定対策)
4	振袖の着せ方6	振袖着付を仕上げる(検定対策)
5	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて

6	検定試験	きもの着付2級検定試験を実施する
7	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について、検定結果通知
8	留袖の着せ方2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
9	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について
10	座学1	着物のTPO(プリント③④)を学ぶ
11	花嫁着付内容説明	デモンstrーション、小物の準備/使い方/片付けについて
12	花嫁着付1	補整の説明と仕方、長襦袢の着付を学び実践する
13	花嫁着付2	補整の仕方、長襦袢の着付を実践する
14	花嫁着付3	補整、長襦袢、掛下の着せ方(衿合わせ)を学び実践する
15	総合学習	花嫁着付と総まとめを行う
16	花嫁着付4	考査票の記入、補整、長襦袢、掛下の着せ方(裾引き)を学び実践する
17	花嫁着付5	掛下までの着付を実践(復習)する
18	花嫁着付6	掛下の着付の実践(復習) 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
19	花嫁着付7	掛下の着付の実践(復習) 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
20	花嫁着付8	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
21	花嫁着付9	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
22	花嫁着付10	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
23	花嫁着付11	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
24	検定向上会	総仕上げ、テストの流れについて
25	検定試験	花嫁着付け3級検定試験を実施する
26	打掛の掛け方	掛下に文庫結び、お絡げ・裄どり・お掻い取り、検定結果通知
27	引き振り袖	花嫁の変わり結びを学び実践する

28	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
29	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
30	総合学習	国家試験対策としてテストを実施、解説する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	ノート・筆記用具		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としてのマナーやルールを学び就職内定につなげる				
到達目標	希望する企業に内定をいただき、社会人としての自覚を持つ				
評価基準	テスト：50% 授業態度：50%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	浅山翔悟 他3名	実務経験	○		
実務内容	美容師としてサロンに勤務し、技術や育成に従事した経験をもとに技術全般を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	目標設定 今後の就職スケジュール	2年生の目標設定（個人・クラス） 就職・面談アンケート実施
2	仕事の計画	社会人の仕事のスケジュール管理 就職活動の計画表作成
3	就職決定までの流れ	エントリー方法・試験内容 受験報告書記入の仕方⇒受験報告書記入例教室掲示 送付状、内定お礼状、郵送用封筒の作成について 返信書類管理方法
4	テスト	履歴書(1年次で習ったところまで)・一般常識試験対策
5	電話・メール・SNSの使い方	就職希望先・就職先への電話のかけ方やメールの送り方について再度確認をする
6	テスト返却・解説	履歴書の書き方再度確認・一般常識解説
10	面接練習①	面接の入退室の練習 試験官と面接者をグループを作り練習する
11	面接練習②	志望動機や自己PRなどを実際に話してみる
7	社会人基礎力①	求められる人材を考える

8	社会人基礎力②	求められる人材に対して自分のできているところと改善点を考える
9	社会人基礎力③	目標設定 求められる人材になるには何を目標にするかを定める
12	試験対策①	漢字・計算・敬語・四字熟語・ことわざなど筆記対策を行う
13	試験対策②	漢字・計算・敬語・四字熟語・ことわざなど筆記対策を行う
14	テスト	試験対策①②試験
15	総合授業	総まとめ
16	目標設定 今後の就職スケジュール	2年生の目標設定（個人・クラス）
17	社会人準備①	社会保険や年金制度について学ぶ 給料の配分など各自シミュレーションを行い計画を立てる
18	社会人準備②	社会保険や年金制度について学ぶ 給料の配分など各自シミュレーションを行い計画を立てる
24	社会人基礎力①	社会人として必要なビジネスマナーを学ぶ
25	社会人基礎力②	社会人としての自覚をもつために
26	社会人基礎力③	新入社員の時に心がけることを学ぶ
23	テスト	テスト
19	社会人基礎力④	社会に出るにあたって必要となるスキルを身につける。 モチベーションアップの方法
20	社会人基礎力⑤	社会に出るにあたって必要となるスキルを身につける。 モチベーションアップの方法
21	社会人基礎力⑥	社会に出るにあたって必要となるスキルを身につける。 モチベーションアップの方法
22	社会人基礎力⑦	社会に出るにあたって必要となるスキルを身につける。 モチベーションアップの方法
27	振り返り①	3年間の自分を振り返る
28	振り返り②	2年後・5年後の自分を考える
29	振り返り③	3年間の自分を振り返り、2年後・5年後の自分をみんなにプレゼンテーションする
30	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘアカラーの知識、メイク実技を習得し現場を意識して実践できるようになる				
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	<ul style="list-style-type: none"> 原則、この科目は対面授業にて実施する。 この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	持木奈保子 他5名	実務経験		○	
実務内容	美容師としてサロンに勤務し、技術や育成に従事した経験をもとに技術全般を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【各校フリー】

回数	単元	内容
1	アルカリカラー	アルカリカラー ヘアカラー知識
2	アルカリカラー	アルカリカラー タイムレッスン
3	アルカリカラー 薬剤設定	アルカリカラー 薬剤知識
4	アルカリカラー	アルカリカラー 人頭塗布
5	アルカリカラー まとめ	アルカリカラーリタッチ 薬剤知識まとめ
6	トーンチャート作成	毛束にてトーンチャート作成
7	カラーリング デザイン	セクショニング ウィーピング
8	カラーリング デザイン	セクショニング ウィーピング

9	カラーリング デザイン	セクショニング ウィーピング
10	カラーリング デザイン	セクショニング ウィーピングタイムレッスン
11	カラーリング デザイン	セクショニング ウィーピングタイムレッスン
12	カラーリング まとめ	ウィーピングまとめ
13	カラーリング デザイン	ホイルワークデザイン
14	作品制作 デザイン考案	フリーデザインウィッグ制作 デザイン考案
15	総合授業	ハイライト実習
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ－B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ－B		
開講					
年次	2年	学科	美容科	単位数	3
時間数					90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト） スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌（VOGUE/MODE ET MODE 等）		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	特殊⇒ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする メイク⇒スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。
到達目標	特殊⇒トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる メイク⇒メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。
評価基準	・特殊(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%) ・メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)
関連科目	美容実践Ⅰ－B
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・(ベーシックメイク) + (特殊・アーティスト・モデルメイク)
担当教員	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り

8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う
9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う
各回の展開		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-C		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ブライダルエステ】教科書・クリエーヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト)		出版社	【ブライダルエステ】日本エステティック協会、日本理容美容教育センター 【ベーシックメイク】ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ブライダルエステ】身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ブライダルエステ】ホスピタリティの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・【ブライダルエステ】(実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)授業態度・提出物10%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン				
関連科目	美容実践Ⅰ-C				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク)+(ブライダルエステ)				
担当教員	赤星 美妃他1名	実務経験	○		
実務内容	化粧品販売企業で美容部員として勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ブライダルエステ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ:教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ:1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1コマ:授業準備・ルールについて、ベッドセッティング
2	接客マナー(相モデル)	1コマ:ベッドセッティング 1コマ:笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ:基本動作・ベッド誘導
3	前操作(相モデル)	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ(塗布から) 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内ー消毒ー下肢後面マッサージーふき取りー誘導 ×2クール～4クール人数に応じて ※相モデル
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー(相モデル)	1コマ:1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ:事前準備・基本動作・ベッド誘導 1コマ:基本手技・HOTタオルの流れシミュレーション

9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内ーデコルテ1～7(美容技術)ーHOTタオルふき取り(技術編 I プリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内ーフェイシャル1～11(美容技術)ーHOTタオルふき取り(技術編 I プリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内ー全体クレンジング(ポイントなし)ーマッサージ・ふき取りー整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内ーフェイシャルクレンジング(技術編 I プリント)ーマッサージーふき取りー整肌ー誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内ーフェイシャルクレンジングーマッサージーふき取りー整肌ー誘導
14	マッサージ総合・マスク	1コマ:デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内ー消毒ークレンジングーマッサージーマスクーふき取りー整肌ー誘導
15	総合授業	総まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、JNAジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルに技術と共にJNAジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、サロンワークに対応できる技術を身に付ける				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級/JNAジェルネイル検定初級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高柳 圭子 他1名	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック1年次復習
	導入・教材チェック 一年次復習	導入・教材チェック一年次復習
2	1年次復習	1年次復習
	一年次復習	一年次復習
3	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習
4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ

5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
	チップラップ 実技	チップラップ 実技
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
	2級後半 実技	2級後半 実技
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
	2級 通し	2級の実技を通して練習する
8	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
	2級 通し	2級 通し
9	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	実技試験	2級内容
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する。 ジェルの筆記試験
	実技試験	実技試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		90
使用教材	ネイル→JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 メイク→メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト)		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイル→基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNEC3級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる。 メイク→スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	ネイル→ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得 メイク→メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	ネイル→検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% メイク→テスト30%・提出物10%・授業意欲10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト技能検定3級(任意)・JNAジェルネイル検定初級(任意) 2年4月 2年7～12月 メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プレパレーションデモ リペア(シルクラップ)デモ・実技	ラップ素材を使用して 爪の修正を学ぶ
2	2級検定説明(2級検定DVD) 2級検定実技	2級検定について説明し 受験希望者を確認
3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得
4	チップオン・チップラップ相モデル	チップによる付け爪の習得
5	チップオン・チップラップ相モデル	チップによる付け爪の習得
6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント
7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
8	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ

9	ミックスメディアアート	3Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
10	ミックスメディアアート	3Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
12	実技試験(2級と同じ内容)	実技試験 JNEC2級検定受験内容に準じる
13	実技試験(2級と同じ内容)	実技試験 JNEC2級検定受験内容に準じる
14	筆記試験 実技練習	筆記試験 JNEC2級検定受験内容に準じる 実技試験の振り返り
15	総合授業	総まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	・パーマメントウェーブの理論を学び薬剤の特徴、仕上がり、使用目的に応じた使い方を学ぶ。				
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる。				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容実習Ⅱ-A・B・C・D・E・F 美容実践Ⅱ-A				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	溝口 五鈴 他3名	実務経験		○	
実務内容	美容師として、サロン経営し、技術育成、美容技術(サロンワーク)、まつ毛エクステーション、まつ毛カール、眉毛Wax など教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【教科名】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標・評価基準・授業ルール・教材確認・セッティング
2	パーマメントウェーブ理論	パーマの理論
3	カット	パーマ前のカットをおこなう
4	カット	パーマ前のカットをおこなう
5	パーマ	作品作り
6	パーマ	作品作り
7	パーマ	作品作り
8	まとめ	テスト
9	カット・パーマ	作品作り

10	カット・パーマ	作品作り
11	カット・パーマ	作品作り
12	カット・パーマ	作品作り
13	カット・パーマ	作品作り
14	カット・パーマ	テスト
15	カット・パーマ	まとめ
16	オリエンテーション	授業の目的目標・評価基準・授業ルール・教材確認・セッティング
17	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り(デッサン)
18	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り
19	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り
20	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り
21	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り
22	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り
23	パーマ・カラー・カット	テスト
24	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り(デッサン)
25	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り
26	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り
27	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り
28	パーマ・カラー・カット	コンテスト作品作り
29	パーマ・カラー・カット	テスト
30	パーマ・カラー・カット	まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークーB		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークーB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	美容技術理論Ⅰ		出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	カット・パーマ・カラーの基本技術・理論を理解し、習得させる。				
到達目標	実践の授業で応用が出来るように、サロンワークの授業を通して基礎理論・技術を習得する。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家試験				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明
2	カットについて理解する 美容総合授業	シザーの扱い方・姿勢・ブロッキング・基礎理論・ベーシックな技法の理解をする。 デッサンシート作成
3	ワンレングスカット① 美容総合授業	ワンレングススタイルの基本中の基本であるプラントカットを理解し、習得する。 ヘアメイク練習
4	ワンレングスカット② 美容総合授業	ワンレングススタイルの完成 ヘアメイク練習
5	グラデーションカット① 美容総合授業	グラデーションの意味を理解し、カット技法を習得する。 ヘアメイク練習
6	グラデーションカット② 美容総合授業	グラデーションスタイルの完成 ヘアメイク練習
7	レイヤーカット① 美容総合授業	レイヤーカットの知識を身に付け、カット技法を習得する。 ヘアメイク練習
8	レイヤーカット② 美容総合授業	レイヤースタイルの完成 ヘアメイク練習

9	セიმレングスカット① 美容総合授業	オンベースを理解・意識し、セიმレングスタイルを作り上げる。 ヘアメイク練習
10	セიმレングスカット②	セიმレングスタイル（メンズカット）の完成
11	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
12	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
13	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
14	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
15	総まとめ	総まとめ（学んだ知識・技術を活かし、1スタイルの完成）
16	初回授業オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 ABEまつ毛エクステンション検定衛生（技術における衛生上の取り扱い）
17	筆記・・・第1章 実技・・・ツイザー	筆記・・・まつ毛エクステンション概論 実技・・・ツイザーの正しい持ち方とJカール装着
18	筆記・・・第2章 実技・・・ツイザー	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（1備品） 実技・・・ツイザーの正しい使い方とJカール装着
19	筆記・・・第2章 実技・・・まつ毛書き分け	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（2道具） 実技・・・まつ毛の書き分け方とJカール装着
20	筆記・・・第2章 実技・・・まつ毛書き分け	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（3用剤） 実技・・・まつ毛の書き分けと装着タイムトライアル
21	筆記・・・第2章 実技・・・テーブルセッティング	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（4材料） 実技・・・テーブルセッティング
22	筆記・・・第3章 実技・・・Jカール	筆記・・・衛生管理 実技・・・Jカールの装着タイムトライアル
23	筆記・・・第4章 実技・・・Jカール	筆記・・・保健（眼に関する知識） 実技・・・Jカールの装着タイムトライアル
24	筆記・・・第4章 実技・・・テーピング	筆記・・・保健（皮膚に関する知識） 実技・・・テーピングデモ&実習とJカールの装着 小テストを実施する
25	筆記・・・第4章 実技・・・テーピング	筆記・・・保健（まつ毛に関する知識） 実技・・・テーピングデモ&実習とJカールの装着
26	筆記・・・第5章 実技・・・リムービング	筆記・・・カウンセリング 実技・・・テーピングから装着までリムービングデモ&実習
27	筆記・・・第6章 実技・・・トライアル	筆記・・・第6章まつ毛エクステンション技術1 実技・・・トライアル
28	筆記・・・第6章 実技・・・トライアル	筆記・・・第6章まつ毛エクステンション技術2 実技・・・トライアル
29	実技・・・トライアル	実技・・・トライアル
30	総まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC			
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120	
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト			出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年時の基礎技術の応用から現場での活用につなげる				
到達目標	ヘアアレンジ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるスタイリングが実践出来るようになる。				
評価基準	ブライダル知識50%・ヘアアレンジ50% (テスト30%・授業態度20%)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。				
担当教員	篠原朱美他2名	実務経験	○		
実務内容	美容師として、トータルサロン・結婚式場での勤務有。				

各回の展開【ヘアアレンジ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	サロンワークヘアアレンジについての説明
2	復習①	アイロンと各ピンの使いかた
3	復習②	ホットカーラー・逆毛・すき毛
4	ブライダルヘア知識	ブライダルヘアメイクの仕事内容
5	ブライダルヘア知識	打ち合わせに必要な資料の仕上げ方
6	ブライダルヘア知識	婚礼当日のヘアメイクの動き 筆記テスト
7	ヘア実践①	和装面だしスタイル
8	ヘア実践②	顔の形を意識してスタイルを作る
9	ヘア実践③	お色直しを意識して2スタイルを作る (相モデル)

10	ヘア実践④	お色直しを意識して2スタイルを作る（モデルチェンジ）
11	テスト①	和装スタイル <u>実技テスト</u>
12	テスト②	洋装スタイル <u>実技テスト</u>
13	ヘア実践⑤	相モデルでヘアアクセサリーも含めて仕上げる
14	ヘア実践⑥	⑤のモデルチェンジ
15	総合授業	前期の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC			
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120	
使用教材	AWP検定テキスト		出版社	日本ウェディングプランナー・ネットワーク協会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界で働く上の知識を身につけ、AWP検定を受けられる知識を身につける				
到達目標	ブライダルの現場においてお客様の需要に合わせた提案をできるようになる。 衣装・小物にあった様々なスタイルを提供できるようになる。				
評価基準	テスト30%・提出物10%・授業意欲10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。				
担当教員	石堂 津多江	実務経験	○		
実務内容	メーカーで美容部員として勤務。				

各回の展開【ブライダル知識】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介・授業の目的・ヒューマン概論・歴史
2	接客概論①	言葉を伝える・魅力を伝える
3	接客概論②	復習テスト・ロールプレイング
4	実務概論①	実務概論・挙式披露宴の流れ
5	実務概論②	テーブルプラン・クリエイティブ概論
6	マーケットの把握①	セールスプロモーション
7	マーケットの把握②	飲食概論
8	ブライダルパートナー①	ブライダルパートナー・花の役割
9	ブライダルパートナー②	ブライダルにおける花の役割

10	婚礼衣装	感動のステージへ・婚礼衣装
11	結婚式の色々	撮影・音響・照明・司会・結婚指輪
12	検定対策①	筆記対策・苦手分野理解
13	検定対策②	筆記対策・苦手分野理解
14	検定対策③	筆記対策・苦手分野理解
15	総合授業	前期の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワーク-D		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワーク-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		120
使用教材	まつ毛エクステンション道具一式、テキスト JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ABEまつ毛エクステンション検定取得 ・基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、JNAジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する 				
到達目標	ABEまつ毛エクステンション検定基礎知識及び合格を目指す。 基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルに技術と共に JNAジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、 サロンワークに対応できる技術を身に付ける				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト50%・提出物30%・授業意欲20% ・検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格 JNECネイリスト検定3級/JNAジェルネイル検定初級				
関連科目	美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。				
担当教員	田中 芙美子他2名				○
実務内容	まつげエクステサロンを運営し、技術や知識をもとにサロンワークを行う経験を活かしアイラッシュ技術を教授する。				

各回の展開【まつ毛エクステンション】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業ルール、道具の確認、まつ毛エクステンション概論・用具
2	まつ毛エクステンション用具 まつ毛エクステンション技術	用具の取り扱いについて、ワゴンセッティング、姿勢当
3	衛生管理 まつ毛エクステンション技術	目の病気、自術上の注意点、Jカール装着
4	保健(皮膚) まつ毛エクステンション技術	自まつ毛の接している皮膚についての知識を持つことでお客様の安全確保、Cカール装着
5	保健(まつ毛の知識) テーピング・リムービング	毛髪とまつ毛の周期の違い・人工毛の選定方法、テープ貼り、リムーバーの違い
6	カウンセリング 装着復習	コミュニケーションの目的と重要性についての理解

7	カウンセリング 装着復習	トラブルの原因について
8	理論復習 装着復習	検定対策
9	理論復習 装着復習	検定対策
10	理論復習 装着復習	検定対策
11	理論復習 装着復習	検定対策
12	まとめ	理論(概論～衛生)、装着復習、検定対策
13	理論復習 装着復習	クレームやトラブルの色々とカウンセリングデザイン様々なエクステンションの種類
14	理論復習 装着復習	検定対策
15	総まとめ	理論(保健～カウンセリング)、装着復習、検定対策

各回の展開【ネイル】

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック1年次復習
	導入・教材チェック 一年次復習	導入・教材チェック一年次復習
2	1年次復習	1年次復習
	一年次復習	一年次復習
3	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習
4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
	チップラップ 実技	チップラップ 実技
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
	2級後半 実技	2級後半 実技
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
	2級 通し	2級の実技を通して練習する

8	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
	2級 通し	2級 通し
9	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	実技試験	2級内容
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する。 ジェルの筆記試験
	実技試験	実技試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークーE		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークーE		
開講					
年次	2年	学科	美容科	単位数	4
時間数					120
使用教材	教科書・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類、JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル		出版社	新エステティック・技術編Ⅰ・理論編Ⅲ 美容実技理論Ⅱ、日本エステティック協会 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルエステの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来る ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来る				
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる ネイルの基礎的な知識・技術を理解し、ジェル検初級取得を目指す				
評価基準	実技試験80%(フェイシャル40%・ボディ40%)授業態度・提出物20%/5段階評価 初級検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定フェイシャルエステティシャン NECネイリスト検定3級・2級・1級		認定ボディエステティシャン		
関連科目	美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション ボディエステティックの目的と効果・ボディエステティックの流れ
2	接客マナー	挨拶・身だしなみ・言葉遣い・基本動作・ベッド誘導
3	前操作	ボディトリートメント/手の使用部位
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験	成績評価①
8	フェイシャルエステティックと は、接客マナー	フェイシャルエステティックの目的と効果・フェイシャルエステティックの流れ
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入

10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入練習
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・マッサージ・拭取り 練習
12	フェイシャルマッサージ 4	クレンジングから拭取りまで 練習
13	フェイシャル実技試験	成績評価②
14	マッサージ総合・マスク	実技総合 フェイシャル・ボディマッサージ・マスク
15	総合授業	これまでの授業の確認・復習
16	導入・教材の名称及び説明、 ジェル講義・オフの仕方・デモ	教材説明 ライトで硬化するジェルシステムを学ぶ
17	クリア・カラー実技 (自分の爪)	
18	クリア・カラー実技 (相モデル)	
19	クリア・カラー実技 (相モデル)	
20	ジェルアート・講義・デモ	ピーコック・フラワーなどのジェルアートの基礎を学ぶ
21	ジェルアート	
22	初級検定説明・デモ 初級検定DVD※	初級検定内容を学び・技術をマスターする ※受験時期により内容を前後させて行う ※必要に応じて検定DVDやデモを見る
23	初級検定実技	
24	初級検定実技	
25	筆記テスト 初級検定実技	
26	実技テスト	
27	中級検定について、フレンチ グラデーション、デモ 中級DVD	
28	フレンチ グラデーション実技	フレンチ・グラデーションの基礎を学ぶ
29	ジェルスカ(クリア)(中級対応) デモ 実技	ジェルスカルプを学び、デモンストレーションを行う
30	総合授業	総まとめを行う